

## 第3回新発田市まちづくり総合計画審議会 会議録

- 1 日 時 令和2年1月16日(木) 午後2時～午後4時30分
- 2 場 所 新発田市生涯学習センター2階 研修室1
- 3 出席委員 寺内会長、籠島委員、小池委員、姉崎委員、齋藤委員、笹川委員、  
大野委員、久志田委員、鶴巻委員、若林委員、佐藤委員
- 4 欠席委員 6名
- 5 事務局 みらい創造課(課長、課長補佐、企画政策係長、ほか5名)
- 6 傍聴者 3名

項 目	担 当	内 容
1 開会	事務局	<p>定刻になりましたので第3回まちづくり総合計画審議会を開会いたします。</p> <p>ここからの進行につきましては寺内会長にお願いします。</p> <p>(議事進行を会長へ引き継ぎ)</p>
2 議事	会長	<p><u>※基本目標(案)について</u></p> <p>次第に従いまして議事を進めてまいりたいと思います。</p> <p>前回の審議会では、基本目標の「生活環境」、「教育・文化」について審議を行いました。本日の審議につきましては、基本構想11ページから12ページに記載されております、「健康・医療・福祉」、「産業」、「市民活動・行政運動」についての審議を進めてまいりたいと思います。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いいたします。</p>
	事務局	<p>今日も忌憚のないご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>(資料説明：パブリックコメントについて)</p>
	会長	<p>ただいま事務局からご説明をいただきましたパブリックコメントにつきまして、市民の皆様からの貴重なご意見でございます。この内容につきましても、これからの審議のなかで、ご参考にしていただければなと思います。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
	事務局	<p>前回のおさらいをしながら進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>(資料説明：基本目標(案)Ⅳ産業について)</p>
	会長	<p>ただいま事務局からご説明がございました。</p>

	<p>委員の皆様につきましては、この基本目標をもとにご意見を頂戴します。ご意見がある場合には、お手数でございますが挙手のうえ、お願い申し上げます。</p> <p>なお、最終的に新発田市に対しまして、この審議会の結果を答申しなければなりません。その点も意識していただきながら、忌憚のないご意見をいただければと思います。</p> <p>それでは、まず、産業についてです。</p> <p>それでは、順次ご意見を賜りたいと思います。</p>
委員	<p>新発田のブランドを広げようということですが、全国的に「新発田」と聞くとよく分からないということもある。例えば、新潟を付けた方が皆が分かりやすいのかなと思います。「新潟しばた」の「しばた」もひらがなにし、新潟は新潟で漢字にしまった方が、通りがよいなど。漢字で出ても、よく読めないということもある。</p>
委員	<p>この「産業」の農業の関係につきましては、農業者の所得を増大させるということと、農業の生産力を拡大していくということを最大限の目標としています。合わせて、地域の皆様方に、農業に関してご理解いただくか、理解度を深める運動をしていこうということで展開をさせていただいています。今は県も園芸振興基本戦略というなかで、1億円を超える品目を、今現在51品目から倍増していこうということで、稲作中心の形から園芸をもう一つの大きな柱にしていこうという検討をしています。私どもの対象の管内は新発田市と聖籠町にあたるわけですが、その中で今1億円を超える品目が5つございます。アスパラというのが非常に有名で、3億近い生産高にもなりましたが、残念ながら最近が高齢化の波や、立ち枯れを起こすという状況から、なかなか新たにアスパラを作るとい方が非常に少なくなり、今現在1億5千万程度の売り上げになっております。まだ津南町さんよりは儲けがあり、県下1番です。今の時期は、越後姫、そしてネギ、あとチューリップ等の切り花、最近は砂里芋という里芋が、1億円を超えるようになりました。今は五泉の里芋が非常に有名でございますが、当地区では、紫雲寺地区は非常に畑がたくさんございます。最近、タバコの作付けをやめる方たちが非常に多くなり、そこに里芋を栽培して、有機質を使いながら特別な形の、美味しい里芋を作っており、非常に評価も高い。そのような形で、園芸にも力を入れています。</p>
委員	<p>農林水産業について、まず右側の施策の展開ということで、「生産コストの低減と担い手育成等による農業経営基盤の強化」と、これは無難なところで一番重要だと思うのですが、10年も15年</p>

	<p>前からもこれがメインであることは変わらないので、今更かなというところがございます。最後に「耕作放棄地を活用した健康農産物の栽培を推進します」ということで、生産コスト低減と担い手育成というこの大きなテーマのなかで、果たして耕作放棄地を活用した栽培を推進するというのが重要であるかどうかを考えると、ちょっと違うのではないかなという気はします。そして、左側の、最初の文言に、「近年、高齢化や後継者不足により、農林水産業の従事者は減少しており、」というところがやはり、この業界の一番の問題である。ただ、現在まだ元気な高齢の方が非常に農業を支えてくださっているのです、ここはちょっと違うのではないかなと思っております。</p> <p>そして、右側の「農産物の輸出促進」は、新発田市は今、輸出に大変力を入れているのが、果たして農業施策の中でこれが1番、2番かと言われると、ここばかりではないのが現状ではないかなと思っております。砂里芋、アスパラ、イチゴと新発田市にはいろんな野菜がありますし、園芸もやっぺいこうというなかで、アスパラの生産量が減っているという話があったが、アスパラもどこでもできるわけではないです。適地適作の指導というか、地域に合ったものをもっと作っていければよいのではないかなと思います。そして、現状の点3個目「また、良質な堆肥による安心・安全な農業生産を推進するとともに」ということで、私も田んぼの堆肥に、新発田市の堆肥を使っている。作業に間に合わず、農家は秋に欲しいのに、春まで待ってくださいと言われることが多々あります。3つ目に書くくらいですから、やはり食の循環で堆肥にも力を入れているのですけれども、若干間に合っていない。それで安心・安全な食の循環というものを推しているながら、施策の方には、堆肥を使ったり、安心・安全な農業生産物という欄は漏れていますので、その環境に配慮した農業を新発田市が一体どれほど推進してサポートしているかというのを、もう少し明確化されればよいのではないかなと思います。</p>
委員	<p>農業が基幹産業であるということ、これはたぶん市民の皆さんが認識していると思う。では実際、その農業がどのような状況にあるのかというのは、たぶん市民の方たちはよく分かってらっしゃらないのではないかなと思っております。たぶん今中心になっていらっしゃるのが60代、70代の方で、だんだん50代、40代、30代になるにつれて、農業従事者が減っているように思います。子どもたちを見ておられますも、農業に興味を持っている子がほとんどいないという状況です。農学部に行く生徒もおりますが、どちらかというと、食の研究をしたいということをおっしゃ</p>

	<p>して、農業そのものに興味を持って、将来新発田の農業のために頑張ろうという声はほとんど聞かれない状況でありますので、そのあたりを、まだ若い子たちに教育されたら、後継者育成に繋がってくるのではないかなと思います。</p> <p>農業だけではなく、基本目標の方の3番目にございます、2行目に「様々な人が安心して働き続けられるように、雇用環境の整備や制度の充実を図ります」ということで、これも2番目の農業と一緒に、後継者不足に各企業、商店は大変悩まれております。その辺も早い段階で問題に着手されて解決されないと、どんどん新発田の産業が減少していくのではないかなと感じております。</p>
委員	<p>後継者の話が出ましたが、今「農福連携」といって、農業分野に福祉分野が連携をしまして、障害がある方たちの労働力を農業の方に是非活用してほしいという取り組みを国や県なども行っておりますし、もちろん新発田でも行われています。</p> <p>私が新発田に引っ越してきた時に、前回は話題になりましたけれど、新発田に4つの高校があって、専門学校もあって、短大もあって、大学もあって、教育のまち新発田を誇れると感じた、もう一つに特別支援学校もあります。特別支援学校の生徒たちは就労を目指して、作業学習に力を入れています。それから実習とか、体験の補助をするために企業さんに入ったりとか、一生懸命やっております、農繁期の時に農家さんに、わざわざ生徒のためにお仕事を作ってもらって、お手伝いに入ったりというような連携もやっているということで、そういった部分での後継者の問題、障がい者の就労の問題がマッチングできればいいかなと感じております。</p> <p>それと産業の6番目の雇用のところで「誰もがやりがいを持って健康でいきいきと働けるまち」とあります。現状に31年3月の就職希望の高卒新卒就職率が100%になったと書いてありますが、これは特別支援学校が入っているのかなとちょっと疑問に思いました。</p> <p>新発田市でも、体験ですとか、特別支援学級の生徒さんたちの受け入れなんかもお願いしたいと思っております。産業で稼いだお金は、市長は福祉と教育に回しますというようにおっしゃっており、ありがたいお話だと思いますが、是非、身体障がい者ばかりではなくて、知的精神に障害がある方たちにも雇用のチャンスを新発田市で作っていただければと思います。障害のある方たちにも、是非納税をさせていただきたいと思っております。</p>
委員	<p>産業の中で、前回は「エネルギー」が入っていたのですが、今回は「エネルギー」が外れている。エネルギーとして風力とかエ</p>

	<p>エネルギー問題もいろいろとあるので、どうして「エネルギー」が外れたのか。今後の新発田としての顔もあるし、なかなかエネルギーの問題については電気という関係で出来ることもあるのではないかなという気もする。</p> <p>やはり農業というのは6次産業を含めて一つのパッケージという感じがあった方がよいのではないかという感じがします。例えば北区のトマトのように、レストランと複合施設が出来て、そしてJRさんと組んで、一つのパックとして、旅行として食を食べる、体験するというものを行っている。または、鶴岡でも洋食とか、プロの専門の方が、料理をその食材を使って売り込むというような感じで、企業的なイメージでこれからやっていく方がよいのではないか。他の地域を見ると、やはり農業が基幹的な産業だというなら、もう少し踏み込むなどしなければいけないのではないか。新発田市は産業のなかで農業が基幹ですと、もう40年も昔からずっと言っていることですから、それをどうやって行くのか。そして、食の循環とどのように繋げていくのか。全部を繋げていけば、もう少し農業に関して、拡大というのができるのではないかなと考えています。</p> <p>もう一つは、雇用の関係も非常にあっさり書かれていて、「誰もが」というのがどこでも書かれていると思います。今回、線を引いたように、「女性・障がい者・外国人等」という所が新しく増えたと思います。こういう言い方がよいのか、もう少し言い方をちょっと違うように言われている所もありますので、「全て」とか、いろんな方が働けるといような意味合いで、やはりこの「女性・障がい者・外国人等」という意味ではない方がよいのではないかという気がします。</p>
委員	<p>「雇用」の部分の、「誰もがやりがいを持って働ける多様な環境づくり」で、直接的な子育てという項目が別立てであるので、内容が入ってきてはいない部分もあるかなと思います。ここで書かれているのは、今食品団地の方で保育所を開設したというお話も伺っています。実際には、認可保育園と交流がなく、トータルで子育てしていくのであれば、一緒に同じ新発田の子どもたちに対してどういう保育ができるのかを考えていかなければならないと思います。</p> <p>資料を読んでいて、妻に「DMO活動って何？」と聞かれました。また、「トップセールス」と書いてあるのも、もちろん普通にニュースを見てれば「トップセールス」がどういうことか分かるのですが、そういったものも分からない方もいらっしゃる。例えば「3. 観光」の課題の中に「インバウンド旅行客」を「外国人旅</p>

	<p>行客（インバウンド旅行客）」というような表記の仕方でもよいのかなど。僕らも同じで、保護者の方に話す時について専門用語を使ってしまい、よくないなと思いながら、自分で反省しているのですが、今回、産業とか農業について専門外なので、分からない表現がいくつかあったので、注釈が書いてあると、非常にありがたいと感じました。</p>
委員	<p>新発田ではお米とか、アスパラとか、越後姫が有名なのですが、観光のことで繋げてお話しすると、観光で来られた方に「新発田で美味しいものありますよ」と言っても、「そんなのあるんですか」とか「どこに行けば買えるのですか」と言っていて、せっかく農家の方が一生懸命作られているので、そういうのが一般の方、市民の方、それから県外から来られた観光客の方にも知られるような、そういう機会があれば、一生懸命に作っていただいたものを全国的に広められるのではないかと考えております。</p>
委員	<p>先ほどの意見とまったく同じで、私は「DMO」を調べたのですが、調べないと分からない。「インバウンド」も「アウトバウンド」もそうです。できればあらゆる層の方が、見て分かりやすい表現にさせていただくと大変ありがたいなと思います。「人のインバウンド」は「人の流入」ではだめなのか。「もののアウトバウンド」は「ものの流出」ではだめなのか。流行りの言葉を使うのはよいのですが、そこをお願いしたい。また、読んでいて、例えば一番上の「新たな観光の掘り起こしや磨き込みにより」と書いてあり、掘り起こしと言われれば確かに分かるのですが、磨き込みはきっと精錬したり、質のよいものにしたい、と分かるのですが、でも一回では分からないなというのが、読んで思いました。そして次に、「新たな観光資源の掘り起こしや磨き込みにより」と書いてありますが、多様な人材を育成するところなのですが、ちょっと違うことを言っている。これとは全く別の話で、「多様な人材を育成し、」はない方がよいと思いながら読んでいましたし、最後の行の「農業や観光などの集客ツールを開発するとともに」というのが、読んで何のことを言っているのか、私には分からなかったです。「賑わいを創出するため」や「魅力的な市街地環境の整備を図る」ということは分かるのですが、真ん中のこれが一体何を示しているのかが分からない。それこそ、中学生や高齢の方がぱっと読んで、そういうことかというようにしていただくとありがたいと思います。</p>
委員	<p>普通だと商工業と農業が分けられるのですが、今回「産業」の中に全部が入ってしまっている。また、基幹産業は農業なのかという疑問。何を基準に基幹産業として位置づけるのか。例えば就</p>

	<p>労人口とか、あるいは売り上げ、生産高などがあると思うのですが、その辺が、基幹産業が農業だけなのかなというところがちょっと疑問で、いろんな特産品を頑張って作っておられるのですが、後継者不足という問題も抱えているというなかで、多くの子どもたちが農業に携わるわけではないわけです。いろんな業種のところに就職されるのだと思いますが、その時に新発田の産業、新発田の企業というものに魅力を感じるのかどうかということを考えてときに、基幹産業を農業だけに位置付けるというのは、どうかと思います。もっと他にも、普通の民間企業さんでも日本に誇れるような会社もあるわけですので、そういったものをもっとこの中に盛り込んでいただけると、このような企業があるというようなことがアピールできていくのではないかなと感じております。</p>
<p>委員</p>	<p>生産コストの低減とか担い手の育成等々という形があったり、農産物の輸出促進という形でいろいろ書かれています。基本的には6次産業化も含めて、高付加価値による農業所得の向上というのも分かるのですが、基本的には先ほども申し上げましたとおり、これからはやはり稲作と園芸の2本柱がこれからの農業振興の柱になっていくというなかで、具体的な施策の展開の中に、「園芸振興」という言葉が、やはり大きく欲しいのかな。逆から言うと、輸出促進というのは今現在行われているのは、基本にお米の関係だけであります。一部県下でも果樹等が輸出されているのも事実ではありますが、当市によって輸出となると、お米という形がほとんどだと思います。確かに輸出にも力を入れていますが、それよりもやはり園芸振興という形がメインの施策としてきた方が、新潟の米、合わせてそれぞれの園芸品目があって、来ていただいたお客様に美味しく堪能いただくということが当然可能なわけです。その辺の場所等の確保も含めまして、やはりメインに出していただければなと思っております。</p> <p>あと、今は農地そのものが非常に大区画になりました。そして、効率的な農業をやるということで、基本的に農家の平均は1haくらいなのですが、今新発田市内で100haの農業法人があります。ですから、かなり大規模の農業法人もごございますので、集落を超えた中で法人を作って、その中で担い手を見つけ、一生懸命農地を守って農業振興をして、所得をあげようとしており、そこには当然、園芸も入ってきます。稲作ばかりではなくて、大豆作であろうがいろんな土地利用型の園芸が入っていくという形になります。そして、いわば土地持ち農家で委託を出した農家の皆さん方が新発田のそれぞれの産業、商工業等にそれぞれ従事している</p>

	<p>ということも現実であります。そういう方が昔は兼業農家として、それぞれ農業と勤めの中で頑張ってきたのが、今はそういう形のなかで土地持ち農家として田んぼを法人等に委託して、農業以外で所得を得るといった形が、今は非常に多いということです。ですから、いろんな形の担い手がある。個別経営の中で、先ほど言った集落という形、または集落を超えた中での法人、もしくは個人または共同で法人化をして、土地利用型の園芸等で20ha、30ha、40haという法人は新発田にもたくさんあります。その中で、の担い手、後継者というものが当然付きまとう問題ですが、ほ場整備率というものがありますから、非常に効率的な田んぼになって、若い人もやりやすい。そして今の若い人は園芸に関しましても、越後姫等の腰を曲げないで作業ができ、新規で就農する方がだいぶ増えています。そういう形の新規の就農者も増えているということも一つご理解いただければと思っております。</p> <p>ちょっと気になった点で、目標値のところで、「経営規模20ha以上の農地所有」とありますが、これは必ずしも「所有」ということになる、ちょっと問題がある。基本的には田んぼをお預かりして、20ha、30ha、何十haという大規模経営でありますので、「所有」という言葉でいいのかなと疑問に感じました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。他に委員の皆様からございませんでしょうか。</p> <p>私は新発田に来たばかりなものですから、こちらに転勤になるときに、漢字を見て「しんぼうた」と読まれたりとか、先ほどもお話がありましたように、やはりひらがなとか、振りがなとかしなないと、なかなか他のエリアの方には分かりづらい。先ほどお話があった、専門用語、私もついつい専門用語で説明してしまう所ですが、基本目標につきましては、一般の方もお読みいただくということを前提に、分かりやすい表現というのを見ていただければと思います。</p> <p>私どもも、いわゆる働き手を育成している立場でございます。地元定着ということで、働きかけはしているのですが、その中で、やはり地元の企業様でも、気が付いたら日本一なのではないという企業様もおられるので、そういったところで、商工業のところはもうちょっと分かりやすく、施策なども書いていただいた方がよいのかと思います。やはり、高校生の皆様も就職するときに参考になると思います。</p> <p>エネルギーに関しましては、市長から小水力発電に関して宿題をとときどもらっておりますが、やはりそれぞれの産業でエネルギーは必ず必要だとは思っていますので、それぞれの産業の中にそう</p>



	<p>いったエネルギー問題は盛り込んでいただいた方がよいかと思います。</p> <p>では、事務局お願いします。</p>
事務局	<p>冒頭に申し上げたように、そういう気づきが得られていないところを、こうやってご指摘いただくという所が、やはりこういう審議会の重要なところなのだろうと思いますし、仮にどうしてもその用語を使いたいのであれば、注釈を加えるなど、その工夫はぜひともさせていただきたいと思います。それから、先ほど基幹産業がなぜ農業なんだというあたりも、やはり説明が必要なのところなのかもしれません。例えば就労人口だとか、生産量だとか、生産面積とかということからいくと、やはり農業が新発田としては基幹産業なのだという分かりやすさは、どこかで必要なのだと感じておりますし、特にご指摘をいただいている、この施策の中での展開の仕方、現状課題と施策の展開が必ずしもマッチングしていないのではないかとご指摘は、私どもも感じましたので、これは、今一度担当課に今日のご意見を折り返して揉んでみたいと思っております。また、基本目標の表現の中に、今県も掲げていらっしゃるなかで、市では園芸振興という言葉がなくてもよいのかどうかというあたりも、少し参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>あと、先ほど「雇用」のところ、高校卒業100%というのがどうなのかというご指摘をいただきましたが、それも確認をさせていただきたいと思います。</p> <p>エネルギーの件についてなんですが、実は前回1回目の施策のところ、少しご説明をさせていただいていたのですが、これまでエネルギーというのは、体系図をご覧いただきたいのですが、左側にある以前の体系では、5番目の産業のところ「エネルギー」という施策が入っていたのですが、今回は施策としてはないという話ですが、実は1番の「生活環境」の「自然環境」の中に、実は「再生可能エネルギー」ということは、やはり自然環境を活かすという意味もあり、その部分と様々連動している事業が多いということで、こちらの方に統合させていただいています。その辺りのところが、皆様から、「それであればエネルギーとしてはそこに集約していくのもよいのではないか」ということで、ご理解をいただいていたように、こちらも議事録としては確認をしているのですが、今、少し会長からもそういうご指摘がありましたので、その部分はもう少しお時間を費やしていただいて、パブリックコメントのお返事にも繋がっていくところもあるので、どのようにお考えになるか、少し議論を深めていただければと思いま</p>

	<p>す。</p> <p>前回お配りした「生活環境」の11施策のところの6番目に「自然環境」という項目がありまして、そこに施策の展開のなかで、「新エネルギーの推進・普及啓発」または、その下に「再生可能エネルギーに関する教育の推進」ということで、エネルギーはきちんと施策の展開のところには入れさせていただいています。合わせてご覧いただいて、議論いただけるとよいかと思います。</p>
会長	<p>今事務局からございましたように、前回の「生活環境」の中の6番でございます。「6 自然環境」の中に「新エネルギーの推進・普及啓発」、それから3番目として「自然環境及び再生可能エネルギーに関する教育の推進」というように書かれています。また、パブリックコメントのご意見の中には、ご提案として「洋上風力発電」、「バイオマス発電」、「地熱発電」、「小水力発電」等々のご意見がいただいているというところでございます。</p> <p>「自然環境」というところで、たぶん見逃した一因としては、基本目標の文言の中に入っていなかったというのもあります。委員の皆様、何かこの「エネルギー」に関するご意見等があれば、お願いできればと思います。</p> <p>いろいろなエネルギー源というものを考えられるものですから、その中で、新発田市で位置づけできるものとか、ご意見をいただければなと思います。</p> <p>もしご意見があるようでしたら、挙手の上お願い申し上げます。</p>
事務局	<p>パブリックコメントをお寄せくださった方も、「エネルギー」という言葉がどこか無くなってしまって、新発田市はやる気がないからやめてしまうのではないかと思われたのかもしれない。決してそうではなくて、むしろその再生可能エネルギーということからいくと、先ほどもパブリックコメントの方もおっしゃられていたとおり、バイオマスだとか地熱諸々、小水力もそうですけど、やはり自然とうまく一体的に施策を展開していく必要があるというような担当課の考え方もあり、このような形で連動させようというような考え方をしたようなのですが、やはりどこかにぱっと見えた方がよいというのを皆さんが感じになられるかどうか。ただ、これを出そうとすると、どこに出すかという問題も出てきます。「産業」に出すのか、それとも「生活環境」なのか。「生活環境」に出すとすると、単純に「エネルギー」と書いてしまうと、「生活環境」の中のどういう関連性という話になっていくということもあるので、そのあたり、やはり分かりやすさというあたりでも含めて、皆さんからご意見頂戴できるとあり</p>

	がたいと思います。
会長	<p>今事務局から説明がございました。なかなか簡単には、じゃあここに見えるようにしましょうというようになると、また違和感を感じるということもあるかもしれません。</p> <p>いかがでございましょうか。</p>
事務局	<p>もしなかなか今すぐにお答えが出ないようであれば、事務局も冒頭申し上げたように、回答案の作成をして、次回なり、その次なりにお示しをしたいと思っております。それまでに少しご検討いただいて、またご意見いただいてもよろしいですか。</p>
会長	<p>お願いいたします。おそらく「エネルギー」というのはいろいろ分野に関わってくるので、もしかすると全ての分野に網羅するような形で存在するかもしれません。それも含めて、まだ審議会はございますので、その時にまたご意見をいただければなと思います。</p> <p>まずは一度ここで区切りたいと思います。また後程、総合的な質疑等々の時間を設けたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。様々な資料を出していただいて大変恐縮ですが、一度こちらの「産業」は区切りとさせていただきます。</p> <p>引き続きまして、「Ⅱ健康・医療・福祉」について事務局からのご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料説明：基本目標(案)Ⅱ健康・医療・福祉について)</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>「健康・医療・福祉」につきましては、7つの施策になるかと思ひます。かなり広範囲にわたっていると思ひますが、まずは、基本目標はここに4つの項目が挙げられております。合わせて施策等も鑑みながら皆様からのご意見を承りたいと思ひます。</p>
委員	<p>教育分野と多少関連があることなのですが、この基本目標のなかで、「スポーツ」という言葉はこの中ではどこにも出てこないのです。これを見ると、「スポーツ」がようやく出てくるのが、一歩下がった施策の中の最後に「スポーツ」という言葉が出てくるのです。印象として、新発田市は、スポーツはあまり力を入れていないのかなという印象をどうしても受けてしまいます。他の市町村はどうなのかと思ひながら見てみると、同レベルの柏崎市さんは、基本目標で「スポーツ」という文言が入っています。三条市さんあたりは入っていないようです。なぜ柏崎が入っているかという、水球のまちだから入れているのかなと、そんな背景もあるようなのです。新発田市は、今日の新聞の富樫選手のこと</p>

	<p>もあるように、決してスポーツを過小評価しているわけでもない と私は思っているので、2なのか3なのか迷う所ではあるのですが、 スポーツもしっかり基本目標で、入った方が、市民の方には 伝わるのかなというのが感想です。合わせて、施策が最後の7番 で3つあるのですが、学校教育の立場からすると、小学生、中学 生、特に今中学生の部活動の問題は意外と大きいですが、先 ほど事務局が各世代の運動というように話されたので、小、中、 社会人、高齢者の方含めたもう少し大きな推進計画等があるの ですが、取り組みがあるとよい。これは具体的にどうこうという わけでもないのですが、「総合型」という文言もあるので、学校部 活動も含めた新発田市全体のスポーツ振興があるとよいなとい う感想を持ちました。</p>
委員	<p>「健康づくり」のところの「関連する個別条例」という所に、 「健康長寿アクティブプラン」というものがありますが、これは どういうことかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>新発田市は、将来都市像「住みよいまち日本一 健康田園文化 都市・しばた」というものの実現を目指すために、4つの視点と いうものを持っています。要は各分野を横断的にしていくえ で、どこに力を入れていこうかということで、今までは3つでし た。「少子化対策」、「産業振興」、「教育の充実」だったのですが、 今年度からその一番最初に「健康長寿」というものを入れました。 その理由は、先ほど将来都市像で、「健康」、「田園」、「文化都市」 というように言ったのですが、この順番、「健康長寿」、それから 「少子化対策」、「産業振興」、「教育の充実」というものが、その 「健康田園文化都市」というものにそれぞれ結びつく視点という ことで考えてきました。これまで「健康」は、まずは少子化対策 を、子育て支援をまずは一生懸命やろうということで、ここ数年 間はあらゆる施策をそこに投入して、子育て世代の皆さんに選ん でいただけるまちにしていこうということでやって来たのです が、今年度はそこに、やはりもっと幅広い年代の皆さんに、健康 で健やかでいていただく、後程お話があるかと思えますけれど も、新発田市の平均寿命は、男性は県内ワースト9位で、女性は 4位です。その差がどれくらいあるかというと、0.00くらいのお 話ではあるのですが、やはり「ワースト」という言葉が付くので あれば、そこを押し上げていくことで、お年を取っても健康で、 自分のやりたい事がずっとやれるという健康寿命をこれからは 延ばしていかなければだめだということで、平均寿命を延ばす ことと、健康寿命を延ばすことをやらせていただこうというの が、「健康長寿アクティブプラン」という名前です。</p>

	<p>現在策定を進めておりますが、市民検討会をやらせていただいでいて、今パブリックコメントを行っていると思います。この総合計画と一緒に、来年の4月から市民の皆さん、企業の皆さん、学校の皆さんも一緒に、新たに始めさせていただき取り組みであります。</p>
事務局	<p>具体的に、4つの分野「健康」、「医療」、「食」、それから「社会参画」で、運動も当然入っておりますが、それぞれの分野で全庁的に、健康推進課だけとか、高齢福祉課だけということではなくて、あらゆる課を横断的にまたぐような形の取り組みを市民の皆さんにも、来年度に入ると広報で特集をしたりと、現在調整をしています。</p>
委員	<p>高齢化が進んでいますので、そのようなものをいち早くしていただかないと、寝たきりになるのではないかとというようなことが心配されますので、是非早くその計画をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>この総合計画のところで、ちょっと厳しいかもしれないですが、目標値がいろいろ設定されているのですが、正直私どもからすれば、数値の設定なり内容が、これが子育てができるまちの指数なのかなというところがあります。例えば待機児童数というところで書いてあるのですが、これは我々からするとどうなのだろうというところではあります。一般的には分かりやすいと思います。ただ、待機児童の問題があったのは平成26年頃だと思うのですが、その時は確かに保育園の数とかバランスがよくない部分もあったというところもあるのですが、ニュースに取り上げられて、新潟県内で新発田と2市町村で、待機児童があるということで問題になりました。ということで、ここに入っていると思うのですが、その後は、人口対比推移の予測等から保育園の整備を進めていて、正直今の段階でいくと、待機児童が出ないことは明白なのです。それどころか、定員割れをちょっと懸念しています。以前の子どもの担当課の方からは、そういう場合には公立を縮小するなり、閉鎖するなりという対策を取りますということでお話があったのですが、まだ小さいところですけど増やしていくというところがあります。今、年間新発田市内で700人の子どもが生まれているのですが、700人が生まれて、大体入園の希望が700人。0歳から全員入るわけではないですが、大体700人生まれて700人入ってくる。出ていくのは、今のところ750とかそのくらいなので、純粋に減っていつているのです。720から750くらいの間で、毎年ちょっとずつ推移はしているのですが、減っていつてはいるというところがあるので、目標の数値について、</p>

	<p>やはり考えた方がよいのではないかと思います。</p> <p>保育料が無料になる児童数というところもそうで、実はお金をかければ、言い方が乱暴ですけど、無料になるのです。実際に昨年の10月から保育料無償化の制度が始まっているので、3歳以上の子たちは今は無料です。それは認定と違って、幼稚園に行くか保育園に行くかに関わらず無料。そして、今第3子は給食費を無償化ということで市長が決めて、施策でやっていただいているのですが、そういったことで純粹に増えている予算が5千万と聞いています。確かに予算負担がかなり大きい部分はあるのですが、まだまだ0、1、2歳の子たちは無償になっていない部分も多々あるのです。それが全部無償になれば、もちろん子育て支援という点ではよいと思いますが、目標値というところでいくと、ちょっと疑問です。たぶん軽く超えているのではないかなと思っています。今4千人くらいの子どもたちがいるので、半数以上がこの10月から無償化になっていますから、だったら給食費を0にするとか、予算的には無理だとは思いますが、目標値については、もう一回見直しをしていただきたいと思います。</p> <p>それと、もう一点ですが、これが子育て支援ということで少子化対策を考えられていると思いますが、実は平成29年の統計ですけど、出生数の大体15%くらいが不妊治療で生まれています。ということは、700人生まれていますので、新発田で言うと85人とかそれくらいになります。県が不妊治療に出している費用というのが、最大35万まで出しているはずですが、新発田はいくら出しているかという、10万です。35万から超えた分10万円までは出しますよということで、助成を出していただいています。85人×10万で、850万。予算規模としてはそれほど大きくはないので、もう一步踏み込んでもらおうと助かるのかなと思います。不妊治療ですと、実際に不妊治療をするためにまずは不妊の検査をするのですが、不妊の検査だけでも、自由診療になるので、一回に大体3万円くらいかかります。男女ですから6万円近くかかる。すると軽く超えてしまう。そこで踏み切れなかったり、検査をしなかったりという形だと、少子化がさらに進むと。日本は不妊治療に対して抵抗感が強いというところもあるので、一概に不妊治療が全部正解かといわれると、日本人の気持ちの中では少し抵抗感があるとは思いますが、施策のなかで少子化を前面にもう少し出すのであれば、新たな施策の展開として、婚活支援の次に、妊活、不妊治療ですね、妊活のことを考えていただいてもよいと思っております。</p>
委員	この子育てというのは難しいところだなと思う。私はやはり、

	<p>今マスコミ等で言われている子どもの貧困についてどうなのかなというところですか。これから国が調べていくと思いますが、貧困率が出てくると思う。やはり子どもを育てるのはよいけれども、お金がないという方も多くいらっしゃると思う。その点について、やはり子どもの貧困についてももう少し取り組む方法があった方がよいと考えております。そのためにはやはり、教育とも同じですけど、朝ご飯を食べてこないとかいろいろあると、なかなか大変な面もあるので、その点も含めて、考えていただきたいです。</p> <p>もう一つは、命の大切さということで、「健康づくり」のところの一番下ですけど、自殺対策についても、6年前くらいから新発田市として命の取り組みを進めてきたと思いますが、それがなかなか広がっていない実態もありますので、ここで市民の絆を深める、命を守る考え方をもう少しはっきり出した方がいい。27人の方が亡くなっているということは、かなり大きい数字なので、その点を減らし、全ての人がやはり健康で元気でいられるように、自殺対策も含めて考えたいと思います。</p>
委員	<p>「スポーツ」という文言がないなと思っておりました。「生涯現役でいられるための健康づくり」という辺りに含まれているのかというように思いますが、せっかくですので、体力向上的なところも入れていただけるとよいと思いました。</p> <p>また、ここには「保健」という言葉は入っていないように思う。言葉を入れた方がよいのかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>担当課に意味を確認しないと、私のはっきりとしたことは分からないのですが、学校だと「保健体育」という言い方をする場合もあるのですが、行政の施策だとか政策のなかでは、あまり「保健」という用語を使うケースが、私はないように思っております。「健康」という言い方が、やはり健康推進課という課があるものですから、そちらに寄せているのと、もう一つは、保険年金課というのは、逆に言うと保険を、国民健康保険とかの保険と音だと同じように聞こえるので、議会答弁だとかそういうものも含めて、分かりやすい言葉にするためには、あまりそういう用語を使わずに、「健康」というような言い方に統一をしているのではないかなというように推察をしております。もう一度担当課にしっかり確認をさせてください。</p>
委員	<p>あと、もう一つ、施策の中で、5番の「障がい者・障がい児福祉」というのがございますので、せっかくなのでお話をしたいと思うのですが、私が20年以上前に新発田に引っ越してきた時に、なんて障がい児を抱えて生活のしづらいところなのだろう</p>

	<p>と、そんな実感を持って生活をしていました。だんだん法が整備されたりとか、制度が整ってきたり、新発田市さんも行政改革推進を進めてくださったりして、随分変わってきたと思っています。でもその生活のしづらさというのは、私の原動力になっておりまして、福祉の向上に努めているのですけれども、課題のところ、「放課後デイサービスやグループホーム等の障害福祉施設は、整備により充足している」とあるのですけれども、実際グループホームは足りてないように感じます。ただ、土地も必要ですし、建物も必要で、大きな法人は別ですけれども、小さい事業所なんかは今の事業を進めるのが精いっぱい、これから土地や建物を購入してなんてことは考えられないので、空き家対策の一つとして、そういった所を安く購入させていただくとか、それから市の土地であるとか、市の建物を提供させていただくとか、もちろん市民の皆さんのご理解も必要なのですけれども、その辺も考えていただければ、進めていけるのかなというように思いました。</p> <p>それと高等部の福祉学級とかを卒業した方の行き場がなくてですね、通所の事業所ですとか入所施設もいっばいで、新潟市まで親御さんが送迎をしなければいけないという実情もございまずので、そういった面では、通所の施設も増やしていかなければいけないというようには考えておりますので、財務の方がなんとおっしゃるかは分かりませんが、是非、市の建物や土地を提供していただければと、そんなように簡単に思っております。</p>
委員	<p>私も同じで「スポーツ」という言葉が入っていないことが大変もったいないなと思います。それと申しますのも、子どもたちを見ておりまして、特に新発田市は部活動に力を入れている市だと思っています。子どもたちが部活動を通して社会性を身につけ、体力をつけて、私は関東から来たのでとてもよい子育てができていますなど、自慢できる教育だと思っています。先生方もきっと大変だと思いますが、その中で精神力、特に今 20 代でも鬱病を発症する人たちが大分多いと聞いておりますので、スポーツのなかで、身につける社会性というのは、非常に私は重要だと考えております。是非それをこの中に謳っていただけるとありがたいなと感じております。</p> <p>それから、人口減少のなかで、25 歳から 35 歳の結婚適齢期の方で、独身で何も活動をしていない人たちが大分多いのを感じます。是非そちらの方もこれから力を入れていただきたいと感じております。</p> <p>また、自分の体を鍛えて、将来に備えなければいけないなと実感した次第でございまず。その辺もなにか明確に、60、65 歳くら</p>



	<p>いで先を考えるようになった人たちに対して、アドバイスとか、公的な場でしていただけたらありがたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>「スポーツ」に関して、定年になってから新発田に戻って来られた方と交流する機会があった時に、その人はスポーツ施設とかスポーツに対してすごくよいとおっしゃっていました。であれば、これは明らかに文言に入ってよいと思います。</p> <p>あと、まずカタカナが目につくので、「子育てコンシェルジュ」とかいろいろ書いてあるのですけれども、子育てもレジャーではないので、「コンシェルジュ」というのもどうかと思います。あと「新発田版ネウボラ」とありますが、これもDMOと一緒に、ここで必要な言葉だろうかとなぜ言葉から思いました。あと気になったのが、「保育園」という言葉だったり、「保育・幼児教育」という言葉はやはりいっぱい出てきます。その中で、課題の2行目に「保育の質を向上し」という言葉があるのですけれども、子どもを保育園に通わせていまして、非常に保育士の皆さんは異動してきても、若い先生からすごく立派ですごく尊敬する。新発田市立だったり私立だったり保育士さんおられますけれども、やはり「保育の質を向上し」という言葉がちょっと引っかかります。今、保育士の待遇って言われていますので、新発田市は子育てをしていくなかで、保育士さんの待遇に関してどう考えているのか、待遇改善をしていきたいと思っていますということがあってもよいのではないかという気がしました。</p> <p>ずっと見ていくと、介護もありますけれども、ここでもまた介護士さんの待遇改善も必要になってくるのでしょし、そういった面からの働いている側の人をフォローする言葉もあった方がよいのではないかと思います。今なかなか保育士さんも足りないし、看護師さんも介護士さんもそうですけれども、課題ばかり与えられて、働いている人の立場というのは見えないのかなと思いました。</p> <p>先日ニュースであったのは、看護師さんの待遇改善という話で、夜勤と日勤の人の制服を変えたら、誰が夜勤で誰が日勤だったかが分かるので、夜勤明けた人に、この人夜勤なんだということで、帰るんだということで、仕事を押し付けなくなったということで、早めに帰れるようになったという話もありました。</p> <p>そして「2. 子育て支援サービスの充実」ということで、「主な取り組み」に「子育ての楽しさが」とありますが、これはやはり、楽しいばかりが子育てではありませんので、楽しければいけないという子育てに対しての支援はどうかと思います。これも文言をちょっと考えた方がよいのではないかなと思います。楽しくない</p>

	<p>お母さんたちにとってはかなりプレッシャーになっていますので、楽しく思えないという方も、その時はやはりいろんなこともありますから。</p> <p>この「主な取り組み」の最後の欄に「子育て世帯全体の経済的負担の軽減を図ります」ということで、妻に何が一番気になると聞いてきたのですけれども、インフルエンザの予防接種の支援だそうです。それが一番気になっているそうです。どうしても出費がかさんでくると。何年か前にヒブに助成が入って無料化になったりしたことがあったようで、その流れでインフルエンザも、ということをおっしゃっているようです。</p> <p>「健康づくり」のところで、「健康長寿アクティブプラン」はよく分からないのですけれども、うちの集落で今年から、お年寄りたちが体操教室のようなものを始めて、市から体操の講師の方に来ていただいて始めました。母から聞いた話で、今は月に1回来てくれているのか分からないのですけれども、次年度以降、5名以上集まった団体には市から助成金が出るという話で非常にみんな集まって、生き生きと活動をしているみたいなので、この支援は、「いきいきと暮らし続けられる健康長寿のまち」という取り組みの中の一つだとは思いますが、非常に集落に人たちを見ていて効果が出ているなどと思って嬉しく思います。ただ、出る人と出ない人の温度差が今度すごく見えるようになってきて、そういった問題も出ています。</p>
委員	<p>「健康長寿」という言葉が随所に出てくるのですけれども、団塊の世代が後期高齢者に入ってくる。一方で現状の高齢者の方々がある程度落ち着いてきていて、新たな介護認定を受ける対象となる方が減ってきているというのが現実だろうと思います。その後にもまた、団塊の世代がそこに入ってくるという問題があるかと思うのですけれども、そのためにも、健康で長生きしていただけるというのが一番好ましいということで、「健康長寿のまち」というものが謳ってあるというように理解しています。福祉ということで考えたときに、今一番問題ではないのかなと思うのが、生活保護世帯の子どもさんたち、一人親世帯だと思うのです。新発田は非常に早くから取り組んでおられるというようには認識はしていますが、ここをもっと取り組みを強化していく必要があるのではないのかと思っております。</p> <p>そういう意味からすると、「4 地域福祉」の「生活困窮者の自立支援」の目標値をもっと上げてよいのではないかなと。この中にありますように、一人親世帯の生活保護受給者の方の就労支援は非常に大事なことだと思っておりますので、やはりこれは市</p>

	<p>と公共職業安定所との連携、これを深めていただいて、就労支援に努めていただくということは、非常に大事なことではないかと思っておりますので、この面の強化の取り組みの重要な位置づけをしていただければと思います。</p> <p>あと「地域医療」の「適正受診及び医療費の適正化」というところで、専門家からすればどうなのかなというところをお聞きしたいのです。確かに言われてはいるけれども、ジェネリック医薬品の普及が、医療費を少なくしようとするためには必要なものかもしれないですけれども、医療費の適正化というのがジェネリック医薬品の普及と合致するのかなと。ちょっと素人なもので、このようなことを疑問に思いました。</p>
委員	<p>1番の「子育て」に関しては、もう少し自信を持って表示をしていただきたいと思います。なぜかという、産科が4件あります。新発田市内で子どもを産むところが4か所もあります。それから、不妊治療が出ていましたけど、今新しい医院が建物を替えて、そこで不妊治療を一生懸命やろうとしているところですので、そういったことを宣伝してやってよいのではないかと思いますし、小児科医も3人いますし、あと病院の小児科医が6、7名います。あと夜間診療所も365日稼働するようにしていますので、そういった意味では安心して子育てができる、病気になった時とか大丈夫、そんな感じの文言を、ぐっと入れていただくと、おおという感じになるかなというように思っております。</p> <p>それから「健康づくり」ですけど、問題は、国民健康保険の方は市が一生懸命やるけれども、一般企業に勤めている方の健康維持は産業医がやります。50人以上は産業医が付くのですけれども、50人以下のところは産業医が付きません。地域医療保健産業センターで、産業医の資格を持っているものが診ているということなので、一概に一つの数字で新発田市全体を言うことはできないと思いますけれども、歯科の方で医師が少ないというようなことも、出していただければよいのではないかと思います。</p> <p>実は地域の医療費の問題で、後期高齢者医療費というものが、新発田市は新潟県で下位の方にあります。新潟県で下位ということは、新潟県の後期高齢者医療費は全国で47位です。新発田市が使っている後期高齢者医療費は、ほぼ最低に近い金額ということになります。これを、健康に注意しているから少ないという考え方もありますし、逆に医療機関が少ないので受診できないという考え方もあるでしょう。それからもう一つこの「地域医療」のなかで、新発田病院を中心として非常によいバランスが取れてまして、この地域の医療機関と新発田病院という関係性がよいの</p>

	<p>で、是非作りたいということで、魚沼機関病院をそういう形として作ったのですが、まったく成功していないということでありましてけれども、非常によいバランスで、顔の見える関係でやっています。そういった意味でもちょっと宣伝をしていただければと思います。</p> <p>あと、「地域福祉」では、やはり先ほどお話があったように、「生活困窮者の自立支援」ということで、非常にたくさんの生活保護、あるいは生活保護は嫌だ、受けないという方で非常に貧困な生活をされている方はよく見ておりますけれども、そういった点では、地域の包括的なシステムというものを使って、どんどん助けてあげていただければなという感じがしております。</p> <p>それから障がい者の問題ですが、若い障がい者はお任せするとして、後期の大変年をとった方の精神障がい者という方がいらっしゃいます。今施設が、私が70くらい見ておりますけれども、平均年齢が60ちょっと超えまして、施設の中で車イスの方がいて、障がい者施設なのか介護施設なのか分からない状態になって、そういうところが何か所もございます。こういったことの対策もしていかなければならないのかなということと、認知症の問題でありますけれども、若年性認知症に対するサポートが遅れていることが、これは県でやることなのでございますけれども、その発見とサポートが若干遅れているのかなという感じがしています。全体の取り組みとしては非常に平均点以上だということに思いますので、自信を持って、とつてもよいということ、前面に押し出していただければいいかなというように思います。</p> <p>少し話が漠然となりましたけれども、非常によい福祉体制ができていますので、全体を見て、ものすごくよいところなので、そういった意味で、少しずつ細かいところを修正されていけばよいのかなと思っております。</p>
会長	<p>「障がい者・障がい児福祉」で気になったところでは、情報の保証で、例えば手話に関しては非常に明記されているのが、オリンピックのチケットのデザインの話とかありましたけれども、例えばピクトグラムで分かりやすく、絵を見れば大体分かるような、そういう施策を、障がい者の方も使えるし、高齢者の方も使えるし、少し欲を言えば外国の人も使えるということで、そういった支援を踏み込んでいただくとよいかなというところで感じました。</p>
事務局	<p>ご指摘ありがとうございます。スポーツについては、東京オリンピック、パラリンピックがある年でもありますし、もう一度、「スポーツ」という言葉については検討させていただきたいと思</p>

	<p>います。</p> <p>あと先ほどあった待機児童のことは、確かにそういう視点もあるなど。平成 26 年に確か新発田の待機児童が新潟県のワースト 1 でした。それで、民間の皆さんにもご協力いただいて、4 年間で確か 10 園整備させていただいて、ようやくなくなってきてはいるのですが、ただ、担当課に言わせると、この待機児童の調査というのは 4 月と 10 月 1 日が基準日になるのですが、必ずしも年間通じて 0 というようには今まだ新発田はなっていないというあたりで、担当課の思いでこういうものが入ってきているのかもしれませんが、ご意見をいただいたということは、折り返しをしながら少し検討したいと思います。</p> <p>あと、不妊治療については、実は「子育て支援サービス」という区切りの中で、今「健やか育児支援事業」の中に不妊治療費助成事業というのが入っているのですが、確かにそうやって苦労されている方がいるとしたら、そういう名称をもう少し目に見えてくる方がよいという、「妊活」という言葉は非常に分かりやすい部分もあると思います。</p> <p>また、各地区で高齢者の皆さんが集まって、毎週一回楽しく体操をしたり、お茶飲みをしたりしましょうという、「ときめき週 1 クラブ」ということで、それも 2 年前から取り組みを始めたのですが、非常に順調に数が伸びていて、担当課もそこはさらに強化をしたいというように言っておるのですが、そのように楽しく参加をしていただいているというのは、是非とも伝えたいというように思っています。</p> <p>あとやはり、共通して分かりやすい表記について、こうやって教えていただいたのを素直に真摯に受け止めさせていただいて、分かりやすさで言うと今の情報の保証というところにも繋がっていくかと思いますが、参考にさせていただきたいと思います。</p>
会長	<p>5 番目の「市民活動・行政活動」に参ります。また、改めて A3 判の大きなもの、それから、先ほどの A4 の緑の表紙のものにつきまして 12 ページに記載がされております、「行政活動・行政運営」というところで、「誰もが平等に活躍でき、市民と市の協働による持続可能なまち」というところがございます。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料説明：基本目標 (案) V 市民活動・行政活動について)</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、「行政活動・行政運営」につきまして、委員の方々</p>

	<p>のご意見をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>各地域や自治体で、独自の活動をされている団体さんとかがいっぱいいます。例えば親道を活性化しようという新道活性化推進協議会とか、他の団体でも、独自の活動をされています。看板を作られたりとか、お祭りに合わせて出店されたりとか。それから地元の農家さんたちが作られた地元の食材を使って、美味しいお料理を提供しようということで、八寸おりおりなど、あれは県の地域振興の方と連携されてやっているようですけれども、そういう各地域でやられている市民活動への連携ですとか支援というのを、ますます続けていっていただきたいなとは思っておりますし、特にこの5番の文言等もこのとおりでよいと思っております。</p>
委員	<p>総合計画の5番の4項目の一番最初の「人口減少社会や超高齢社会を背景に、地域の担い手が不足している中で、市民の活動を支える体制や環境の整備を推進するとともに」というところの、「不足している中で」という内容が、足りないんだというマイナスなイメージが入ってきてしまうと思うのですが、そこに対して積極的な前向きな取り組みが出されているので、前向きに表現をしていただけたらと思います。</p> <p>実際不足しているのは事実なのでしょうけれども、実質こういう所が今の新発田の一番大きな課題かなと感じておりますので。確かに全体的に行政中心に新発田が人口減少を受けて取り組んでいただいているのは分かりますが、実際に市民の皆さんや子どもたちを見ていまして、新発田に対して愛着があって、市のために頑張ろう、もっと盛り上げていこうという積極的な気持ちを持っている方がどのくらいいるのかなと疑問に感じております。もっともっと新発田のよいところをアピールしていただきたい。私から見ると本当にこの新発田の自然は宝だと思います。この自然と上手く共存し、今、冬でも雪のない毎日で私本当に不安に感じているのですけれども、その中でも、エネルギーに関して自然のものを使った、持続可能なエネルギーを新発田が積極的に開発して行って、それを全国的にアピールするととてもよいと思うのですが、人間の生活としての根本が新発田の中にあると感じますので、食を中心に、そして自然が本当に豊かな、海、山、川、温泉、宝がたくさん詰まったこのまちを、行政が中心になって活かしていただいて、日本全国に発信していただきたい。この間東京のお子さんを半年間お預かりしていたのですけれども、新発田は何食べても美味しいし、この自然が大好きで、また来ますと言って帰って行きました。東京から来た方は新発田のよさを大変よく認識</p>

	<p>していただいて、ですが反対に新発田の方々がなかなかそんなところをご理解いただけないところも大変残念なので、是非、上手に情報発信していただきたいなと感じております。</p>
委員	<p>「1 市民参画と協働」というところで、人付き合いの話だと思います。最近の私の周りもそうですけれども、若い世代が、非常に人付き合いが面倒だということです。最近、忘年会をすといっても面倒くさいものを拒否する傾向がよしという風潮になっていまして、これはたぶん市役所の皆さんもそうだと思うのですが、若い世代は飲みに誘ってもついて来ないし、というのはどこでも言われることなのです。そのような中で、参画し、協働し、そしてまた主体的にまちづくりに関わるということは、まさにそのとおりですが、若い人たちのお年寄りとのコミュニケーションができなくなっている。そして、昔だったら、何を作るにしても、さいの神を作るにしても、10人くらい元気だったわけですよ。なので、非常にスムーズにできたと思うのですが、今ではもう全然そうではなくなっています。まだそれでも私たちは農村部なのでなんとかやっておりますが、そういうなかで主体性をどうやって作っていったらよいのかというものがすごく悩んでいるところです。そういうなかでA3右側の「2. 協働の主体への活動支援と、協働によるまちづくりの実践」ということで、「各種活動を支援します」と、うちの例でいえば、前回の活動、国からお金が出る活動の中で、皆さん集落で草刈りを何年もやっています。2週間に1回くらい朝6時から、農家主体ですけれども、農家ではないまちの人も参加してくださっていることによって、非常に新しい交流が生まれて、何とか自治体は存続しております。ただ、それのきっかけはやはり支援があつて、支援があつたからこそそういう機会が生まれて、お金が入って、じゃあそれで集落センター、公民館を直そうかという話になっているのが現状です。存続危ぶまれている自治体がたくさんありますので、そしてどの様な支援があるのかを具体的に渡していただければ、そういうなかから、じゃあうちの集落はこれに取り組もうかという選択もできますので、そういう小さなところから攻めていってもらえればよいと思います。</p>
委員	<p>市民活動ということで、非常に難しいのかなというように思っております。今ほどお話いただきましたように、どうしても地域というものが壊れていくというのは、我々世代としては非常に実感を持っていまして、我々の若い頃、子どもの頃の地域行事というのは、ほとんど今は残っていません。私らの世代、子どもが小さい時には、それなりに残そうということで一生懸命やってき</p>

	<p>て、そのなかで子どもたちは育ってきたのですけれども、人口の減少問題もあるのですけれども、人口の減少問題をクリアしていこうとすると、移住とか外国人労働者の確保とか言われていますけれども、それが進めば進むほど、地域の行事というのは壊れていく。これはもう相反するものがあるということで、どうなのだろうと。やはり、我々の世代からすると維持ではなくて、若い人たちが作っていくこれからの地域づくりというものを支援する方がよいのではないのかなというように思います。昔からあるものを残そう、なんていうことはもう考えることではなくて、若い人たちがどういう地域づくりをしていきたいのかということを引き上げて、そちらに向かって進んでいくということが大事なのではないのかなというように思っております。</p> <p>確かに都会の人たちに、こういう暮らしもありますよ、ということで、移住体験とかいろいろあるのかもかもしれませんが、果たしてそれでこの地域に住みたいと、そこまで考えるか。行こうと思ってくる人は、確認に来ると思うのですが、行ってみてどうなのかということを経験した時に非常に難しいし、果たしてその人たちが地域に来られたとして、地域行事を守ってくれるのかというと、そうではないのではないのかなと思いますので、ある程度我々も割り切って、その人たちに委ねるという覚悟がないと、非常に難しいのかなというように思ったりもしております。何か今までの産業とか健康とか、医療というのは、話の中では具体的に何かが見えますけど、この「市民活動・行政運営」となると、ここに書いてある以上に何があるのかなという、非常に難しいなあというように感じます。</p>
委員	<p>今新発田市の真ん中ではドーナツ現象で、ほとんど子どもたちも少なくなっております、昔は私たちが子どもを育てる頃は、いろんな行事ができた。今子どもが少なくて、町内の結びつきが少なくなっているように思うのです。お祭りになると男の人たちは台輪があります。なかなか女の人が、昔は結構年配の方が町内の人同士で旅行に行ったりして、いろんなことをしていたのですけれども、それも今少なくなってきたので、本当にまちが寂れてきているので、そういう運動なんかも出来たらよいなあと思って見ておりました。また、女の人たちが体操とかレクリエーションとかやってらっしゃるのを聞いて、羨ましいなと思っていたので、是非まちの中でもそういうものがあればと思っております。</p>
委員	<p>私どもの方でも、保育園として、同和教育の方に取り組んでいます。保育園の同和教育というと、同和問題を取り扱うというよ</p>



りは、どちらかという人権問題で、男女差別だとか、いじめだとかということ子どものうちから意識を付けないように、客観的にみられるように、皆仲良くやっていきましょうというレベルではあるのですが、そういった形で取り組んでいます。「人権と多様性の尊重」と、「同和行政・同和教育」は重要性が違うので2つに分けているというところはよいことだなと思っています。

「同和行政・同和教育」についても、まだまだ推進していかなければいけない立場、取り組まなければいけない立場なので、これを見て、しっかりやらなきゃと考えたところです。この秋に初めて同和保育研究集会がありましたが、そういった内容での研修会が進められているので、より取り組まなければいけないと思う一方で、現状の点の4つ目ですね、教職員や市職員、社協の方とか職員に対して、より広く理解をしていただくようなことを、私共も協力しながらやっていかなければいけないのかなと思って考えています。また、分けてというのはよいとは言ったのですが、リンクしてしまうところだとは思いますが、人権の絡みでいくと、やはり先ほどおっしゃられたとおり、障害を持っている方が生きづらい部分があるかなと思っていました。それは、周りの大人の理解がまだまだ足りないかなと。どうしてもやはり障害があること自体が受け入れられないというケースもありますし、持っている子に対して、というところの部分もある。当然生きづらなかで、子どもを育てている部分もあって、非常に苦勞するところではあるのですが、そういったところで垣根を取り払えるような形が取ればよいかなと思って、考えて見ました。なので、かなり内容的には充実しているなと思っております。

5番目の「情報技術・情報セキュリティ」のところですけど、ここでなぜか「子育てワンストップサービス」が前面に出てきていると思っています。これはたぶん国の施策の部分でもあると思います。マイナンバーを取り入れて、保育園の入園の申し込みとかも将来的にワンストップサービスでやるということは、聞いております。マイナンバーも入園の申し込み等をする時に、マイナンバーを申告するというところまでできているのですが、じゃあ実際子育てワンストップサービスが使われているかということ、まだまだこれからかなと思っています。例えば我が家で、何で使ったかということ、児童手当の現況届をこれでやりました。非常に便利です。いちいち全部書く必要もないですし、いろんなコピーを取ったりとかいう必要もなく、マイナンバーだけを用意しておけば出せるというところもあるので、すごく助かりました。いちいち

	<p>行かなくていいというところもあったので。だけど広報されていることでもなくて、確かに児童手当の現況届申請書の中にそういう説明があったけど、見落としちゃうかなという感じがしました。</p> <p>実は市の届出の電子認証とか電子化というのは、意外な部分で進んでいる部分もあって、僕がよく使うのはコンビニの住民票です。戸籍謄本とか所得証明もとれるはずで、たまに必要な時に利用します。忙しいときはそれで、市役所に取りに行くのではなくて、コンビニで5分くらいで取ってこれるので、非常に助かっています。こういった面はマイナンバーのよいところであって、なかなか進まないのは国自体に問題があるかもしれませんが、かなり進めていただいている部分もあるので、有効活用していただければよいとは思っていました。</p>
委員	<p>マイナンバーがなかなか進まないということで、うちの母親は90歳なのですが、写真入りの証明書がないからよいかと思ってマイナンバーカードを作りました。作るの簡単で、インターネットでもできるわけだけど、ただその宣伝が上手くいっていないということで、非常に高齢者の方はやはり健康保険とか社会保険とかそういうものしかなくて、写真がないものだから、出来たらそういうマイナンバーを使う方法が、やはり自分の証明ということでよいのではないかなと思って、90歳の母親に作ったのだけど、あんまり使っていないという状況です。</p> <p>それと、一番最後のところで、行政の運営の関係のところの、職員の組織の適正化というところですが、その、目標値ということで、正職員の人数が書かれていますが、この目標値というのは何の目標値なのか。これは何人がいれば適正な運営ができるのか、何人がいれば行政が上手く回るというような、正社員の目標値なのですかということです。例えば、4月以降働き方改革もあって、労働時間の関係もあって、やはり1ヵ月45時間に収める、45時間以上残業しないんだということで、残業できない分は、市民参画ということで自治体の町内会の活動に市の職員が行って、頑張っていたきたいというような気持ちがありますので、できるだけ長時間労働または、時間外についても、心の病気等も含めてですね、非常に大変だなと思いますので、その辺の適正化を進めていただきたい。</p>
会長	<p>「市民活動・行政活動」、先ほどお祭りの話も出ましたけれども、やはり人員が足りない。学生が、小さなお子さんたちの金魚台輪を引くのに、神輿を担ぐのに人手が足りないからお手伝いさせていただいている。そういったところでコミュニティをまた、</p>

		<p>築かせていただければと思います。</p> <p>施策の「5 情報技術・情報セキュリティ」のところの右ページですね。施策の展開で、主な取り組みの中にアルファベット3文字がありまして、「RPA」というのがその専門分野ではないと分からないと思います。「AI」は人工知能ということでメジャーになってきておりますけれども、「RPA」はたぶん自動プロセス自動化技術のことだと思うのですけれども、書き添えていただけるとよろしいかなと思います。</p> <p>あと6番のところ、メンタルヘルスというところで、ストレスチェックをたぶんされているのだろうと思いますが、もし入れられるならそういったことも入れるとよいのかなと思います。</p>
	会長	<p>ありがとうございます。大変長時間に渡り申し訳ございません。まず、今回3つの基本目標について審議を進めさせていただきました。すでに次の案内がございますけれども、次回の審議会では、全ての基本目標について最終確認をしていきたいと思えます。緑のこちらの表紙のものに記載されているところを踏まえまして、最終確認をしていきたいと思えます。</p> <p>それから本日お配りしましたパブリックコメントですね、こちらの方も、もう一度ちょっと宿題でお願いするのは、本当に心苦しいところではございますが、市民の皆様からの貴重なご意見です。もう一度ちょっと内容をご確認いただければと思います。またちょっと、積み残しのエネルギー問題もございまして、それも踏まえまして次回の審議会で審議するとともに、基本構想案全体を通してのご意見を頂戴できればなと思っております。</p>
3 閉会	会長	<p>それでは、まちづくり総合計画審議会は閉会させていただきます。</p>